

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似代替品を使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料により、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 (フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
 受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
 お問い合わせに際しては、
製品番号(型番)「4RY698」とお伝えください。

CITIZEN®

電波時計 取扱説明書 (回転飾り付置時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
 お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読み
 のうへ、正しくお使いください。
 お読みになった後もお手元に保管して、必要
 に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**
 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。
 当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし
 時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。
 (Y1405)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
- ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
 必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

🚫 **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことを守る**
 禁止

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱ししない。
- 電池を火の中に入れてない。

🚫 **電池から漏れた液に触れない**

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
 必ず守る 逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。

🚫 **強い振動や衝撃を与えない**
 禁止 故障や破損の原因になります。

🚫 **浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない**
 禁止 さびの発生や故障の原因になります。

🚫 **ぬれた手で触らない**
 禁止 故障や誤作動の原因になります。

🚫 **分解や改造をしない**
 分解禁止 けがや故障の原因になります。

🚫 **下記のような場所では使わない**
 禁止

精度の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

おもな製品仕様

時間精度	●標準電波受信成功直後の表示精度 秒針±1秒以内 時針/分針 目盛りに対して±3度 ●標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(クォーツ精度) 温度が5～35℃のとき -10～50℃ *結露なきこと
使用温度範囲	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 2個
使用電池	約1年間 標準電波の受信に成功し、1日当たり暗所で7時間暗所で秒針停止
電池寿命	明暗センサーと連動して12時位置に停止
暗所秒針停止	標準電波受信による時刻修正
電波受信機能	福島局、九州局自動選択
受信局	スイッチ切り替え
受信ON/OFF	最少 1回/日 最多 12回/日
受信回数	2時、3時、4時各時間帯の16分40秒 順に受信を行い受信できたところで当日の受信
受信開始時刻	を停止。72時間以上受信できないときは奇数時の16分40秒に受信を行う。
回転飾り	一方向回転 裝飾用
防水	なし

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 2個 取扱説明書 本書 保証書 1枚
 This product is intended for the Japanese market.
 Service and technical support for this product are available only within Japan.

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

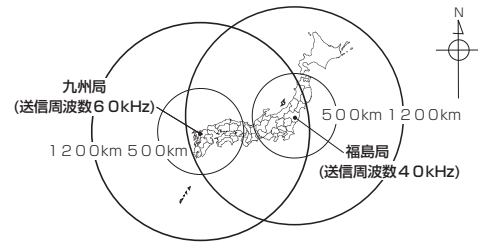
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

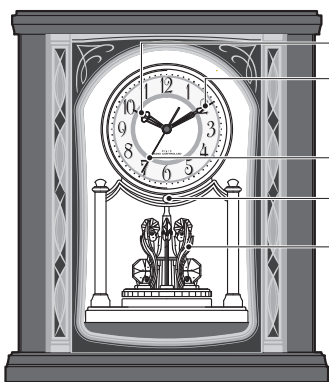
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など 電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



時針(短い針)
分針(長い針)
秒針
明暗センサー
回転飾り
一方向に回転

針の動き……通常の時刻表示

時針・分針：10秒に1回動く。

秒針：滑らかな1秒ステップ。

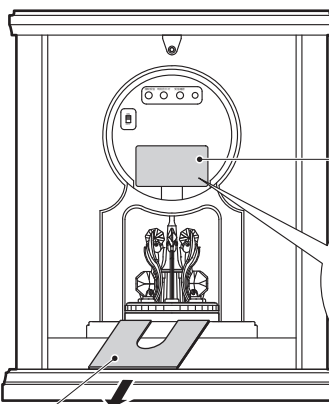
※自動受信により、時刻を修正するときに早送りや停止することがあります。

裏ぶたの取り付け/取り外し

取り外す：つまみを左に回して手前に引く

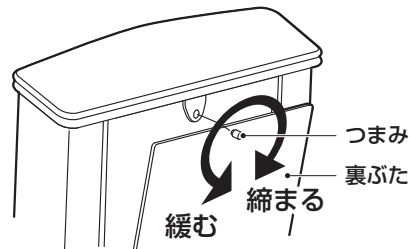
取り付け：裏ぶたの下部を先に入れて、つまみを右に回して締める

(裏面)



電池ぶた

取る
取り付ける



つまみ

裏ぶた

緩む
締まる

電池のセット 単3形アルカリ乾電池 2個

電池ぶたを取り外して、電池を2個入れてから電池ぶたを取りつけます。

注意

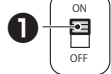
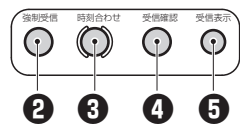
電池の⊕⊖を逆に入れると電池からの液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

回転飾り押さえを引き抜く

輸送時の衝撃から保護するものです。必ず取り外してご使用ください。

輸送する際は、必ず取り付けてください。

(操作部詳細)



①電波受信スイッチ ON：電波を受信 OFF：受信しない

②強制受信ボタン 電池を入れた直後に押します。

③時刻合わせボタン 手動で時刻合わせをするときに使用します。不用意に押すと時刻が変わります。

④受信確認ボタン 押すと受信結果を受信表示ランプで表示。

⑤受信表示ランプ 受信状態や受信化を表示。

受信結果 受信成功：5秒間点灯 受信失敗：5秒間点滅

設置について

時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。

傾いたところに置くと、回転飾りが止まったり、滑らかに回転しなくなることがあります。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、受信表示ランプが消灯し、秒針が12時位置に停止します。

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

電池の交換時期お知らせ機能 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池の交換時期になると明るいところでも秒針が12時位置で停止します。このような状態になりましたらお早めにすべての電池を新品に交換してください。

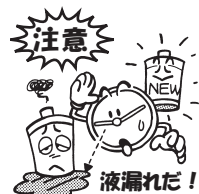
※時針と分針はこのような状態になってから1か月程度動きます。

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをご守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。



液漏れだ！

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

①裏ぶたを取り外す

②電波受信スイッチをONにする

③電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる

④強制受信ボタンを押す

受信の流れと受信表示ランプの見かた 参照

受信表示ランプが点灯して受信を開始します。

※針は受信が終わるまで停止しています。

※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信中はボタンを押さないでください。

⑤回転飾り押さえを取る

⑥受信開始から15分後に受信結果を確認する

受信が終わると針が早送りで移動して時刻を示します。

受信確認ボタンを押して受信表示ランプで受信結果を確認する。

5秒間点灯：受信成功 (正しい時刻)

5秒間点滅：受信失敗 (不正確な時刻) → **電波を受信できない場合** へ

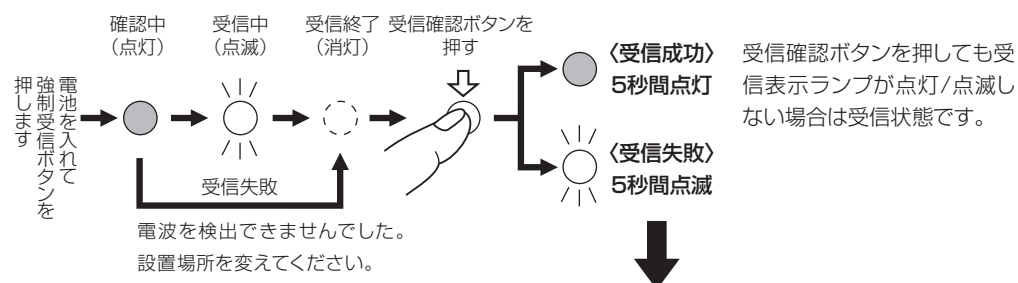
○受信は最長で15分程度行います。

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

○受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

⑦裏ぶたを取り付ける

受信の流れと受信表示ランプの見かた



電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく

と受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

○時刻合わせボタンを押し続けると秒針は12時位置に停止します。

○時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。

秒針が12時位置に止まっていないときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波受信スイッチを「OFF」にすると、電波の受信を行わずに、クォーツ精度で時刻を表示します。誤受信しやすい所で使用するときや意図的に表示時刻を変えてお使いになるときに「OFF」にします。

○受信に成功した状態で、電波受信スイッチを「OFF」にすると24時間以内は、受信表示ランプが点滅することがあります。

○「OFF」のときに、電池を入れるまたは強制受信ボタンを押すと「ON」のときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信を行わずに時刻の表示になります。必要に応じて時刻を手動で合わせてください。